



会長	橋本八右衛門	青少年奉仕	正部家光彦
副会長	妻神 和憲	幹事	小田山紀暢
クラブ奉仕		会計	岡崎 孝文
会長エレクト	石橋 信雄	会場監督	鶴飼 寿栄
職業奉仕	山村 和芳	直前会長	紺野 広
社会奉仕	小井田和哉	副幹事	中村 稔彦
国際奉仕	深澤 隆	会計補佐	浜谷 英幸

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル
 事務所 八戸市番町14 八戸グランドホテル内
 電話 (43) 0608 FAX (43) 0661
 e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp
 http://hachinohe-rotary.org/
 会報・広報委員長 宮下 悟 同副委員長 峯 正一
 同委員 松林 拓司 同委員 上村 奉樹

国際ロータリーのテーマ — 2024~25 — 八戸ロータリークラブのテーマ

ロータリーのマジック

国際ロータリー会長 ステファニーA.アーチック

学ぼう、つながろう、そして一歩前へ!

~個人を磨くとクラブも輝く!再構築ロータリー~

八戸ロータリークラブ会長 橋本 八右衛門

9月 は ロータリーの友月間です

第3326回例会 2024.9.4

会長要件 橋本八右衛門 会長



先週は納涼例会で本当に楽しい例会でした。会員の皆様、景品などご協力いただき本当にありがとうございました。委員の方もフル活動で本当にありがとうございました。

本日は最近紙面に“ポリオ”という字が躍っておりましたので、その件についての会長要件です。end polio nowということで黄色と赤のジャケットを着たり、いろいろなグッズを使ってロータリーでは全力でPRをしていったわけですが、ロータリーの寄付もポリオ根絶ということでよりインパクトをもたらす形で一生懸命取り上げられておりました。

2014年にインド、2019年にナイジェリア、2020年アフリカで相次ぐ野生株でも3年間発症がなければ根絶宣言ということになります。撲滅宣言が行われて、残りはアフガニスタンとパキスタンの2か国。昨年は中村稔彦副幹事が参加したというご報告をしていただきましたし、今年度は当クラブの基隆が終わった直後辺りから地区では行くということ

を伺っています。

このような状況であったわけですが、連日いろいろな新聞、報道などでも載っていますが、今、ハマス・イスラエルの戦争でたいへんな場所になったガザ地区でポリオの感染拡大というニュースがありまして、なかなか大変だ。結果としては人道支援物資もまったく入らなくなって、ワクチン接種もできずということだったらしいのですが、幸いなこと人道的な休戦ということでワクチン接種が開始されたという報道がありました。本当に現地の国連の皆様の活動はひじょうに頑張っているような形です。

ただ対象が640,000人ということで、経口投与で最初に2滴打って、4週間後にもう1回やらなければいけないということですので、なかなかたいへんです。無事に計画通りに行って欲しいと願うことと、そのために戦争を止めた訳ではないとイスラエルはいますが、これが停戦、終戦のきっかけになってくれれば逆にありがたい話だと思っています。

耳だこでしょうが、ポリオは小児麻痺で、一般には感染しても無症状の方が多い。日本では1960年に大流行したのですが、ワクチン

のお陰でそれもなくなった。感染の仕方は新型コロナウイルスとまったく同じ、環境が悪ければ糞尿からそれが身に付いて口から入る。予防方法はワクチンによる集団免疫の獲得という、本当にそのままの形です。元々生のワクチンを使っていましたが、活性化していないところは不活性化ワクチン。たまに生ワクチンで、これから発症する敏感な方もいらっしゃると思いますので100%とは言えないところです。

ロータリーはワクチンやそれを接種する活動に対して支援をしています。ポリオプラス基金ということで今、皆様から募金を募っています。ロータリーが大々的に動き始めたのは、きっかけは1979年にフィリピンで一部のロータリークラブがポリオワクチンの購入や移動をやったのが一番最初でした。その後、その活動がどんどん広がって、ポリオのない世界を作ることがロータリーの最優先事項ということが提示されました。1985年にポリオプラスという形でポリオの根絶を目指して募金、経済的支援という形で進めてきたということです。

われわれも財団にお金を払ってください、ポリオプラスに30ドル払ってくださいということを言われていますが、このようなことを少し意識して、現地に行って現状がどうなっているのか体験するのが一番いいと小林さんは言うのでしょうかけれども、われわれとするといくらでもそういうことをやっているということ、いろんな情報を仕入れながら経済的に支援することをしっかり思って、しっかりと30ドルを払うことで応援していただければありがたいと思っています。しっかりと意識して協力したいと思っています。

幹事報告 小田山紀暢 幹事



• 2023-24クラブ年次活動報告書 2024-25クラブ年次活動報告書について

皆さんのレターボックスに入っていますので、忘れずにお持ち帰りください。

• 2024-25年度地区大会in五所川原について
10月13日(日)に地区大会がありますので、今週中に事務局まで出欠をお願いします。

今年は五所川原ですので、送迎のバスを出しますので、奮ってご参加ください。特に入会3年以内の会員の方はぜひご参加ください。ロータリーのことを知りたいへんいい機会になっていますので、ご参加ください。

今回は10月13日(日)は本大会、懇親会ですので、日帰りのバスを準備しようと思っています。9:30に五所川原着ですので、7:00頃の出発、懇親会は20:00頃終了し、そこから帰るので恐らく八戸着は22:00頃になると思います。登録料はクラブ負担、懇親会も登録料に含まれますので、お金が一切かかりません。バスの中でも飲めます。

宿泊の方泊まって結構ですが、バス日帰りですので多数ご参加ください。

• 納涼例会に傘のお忘れ物がありました。
• 納涼例会の時にはご協賛ありがとうございました。

委員会報告

親睦・会場委員会 栗谷川敏彦委員長



• 誕生祝
地代所久恭・福島哲男
夏堀礼二さん
• 奥様誕生祝 地代所久恭さん
橋本八右衛門さん 納涼例会

お疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。

紺野 広さん ひいおじい様、寅吉様教科書掲載すばらしいですね。

鶴飼寿栄さん 秋ですが夏です。

道尻誠助さん 皆様の笑顔が本日の晴天を呼びよせたようです。

山村和芳・小田山紀暢 } ニコニコデー
石橋信雄・中村稔彦さん }

姉妹友好クラブ委員長 小林幹夫委員長

納涼例会のときも皆さんで基隆に行きましようとお願いをし、OKのことばをいただ



きましたが、実際の申し込みはまだ3人です。書面でお申し込みをいただければたいへんありがたいと思っています。来週の金曜日が締切ですので、事務局に申し込みをよろしくお願いします。

国際奉仕委員会

深澤 隆委員長



今回は国際奉仕月間です。わたしはまだ基隆に一度も行ったことがないので、基隆について勉強しようと資料を作ってきましたのでご覧ください。歴史を知るのには重要なのかと思って一夜漬けですが「基隆を学ぶ～姉妹クラブの理解を深めるために～」ということでお話しします。

姉妹クラブは以前活動報告の中で新入会員の方にもどういうクラブかということでお話があったと思いますが、調べてみると公式に連携して友情と協力関係を築くことを目的とした特定のプロジェクトや活動を通じて共通の目標や理念（省略）をとということで、まさにロータリーの理念や概念に適したそういう関係性ということで、個々のクラブおよびロータリー全体の活動をより豊かに効果的にするものに重要な役割を果たしている。

メリットに関してはいろいろと感ずることはあるかもしれません。異文化の交流、他地域との交流、仲間、ネットワークを拡大する。先ほど申しあげましたように共通のプロジェクトというのも掲げながらやっているところも多々あるようでした。実際にクラブの例としてはこういった交流もそうですが、先ほどお話ししたように、小井田年度のときにも話が出ていた、識字率、英語の教育の問題、共同プロジェクトで立ち上がって頓挫しているようですが、お互いが協力関係にあるプロジェクトをやってみたりとか、オンラインで例会やイベントを開いているクラブもあるようです。

基隆クラブについてお話しします。当ロータリークラブと提携を結んだのはちょうどわたしが生まれた年なので今年で51周年経つようです。基隆ロータリークラブは1953年、今

から70年前に設立されて第3490地区の中では最も歴史の古いクラブであるということです。3490地区はひじょうに大きくて、16分区、さらに150社（ロータリークラブ）で結成されている地区です。人数も当地区の3倍の3,500人です。

基隆分区に基隆ロータリークラブも入っています。そこには9クラブ。一番新しく更新されている7月16日の基隆ロータリークラブ会報を見ましたら会員数26人、例会出席率90%。写真もHP上で公開されています。椅子が派手です。

台湾の地図を見ますと、社会情勢的に中国の問題、海峡の問題などあるかもしれませんが、ひじょうに近い。読み方がしっかり書いてあります。Googleで見るとまさに中国にはかなり近い島国です。北部の写真を拡大すると基隆は台北からはひじょうに近い。港に海洋博公園などいろいろあります。基隆市は8区で構成されています。地理についても基隆市は関山山脈（南北230km）の隅っこ大屯山の狭間にありますので、ひじょうに平地が狭いという地形的特徴があります。人口の推移は360,000人の都市で八戸の約2倍の大きな町です。区ごとの人数を見ると海沿いの区に人口が結構多く住んでいます。最新のデータでは361,000人の町です。

気候は温暖湿潤気候で、世界有数の多雨地区で、雨の港という異名もあるようです。わたしたちが向かう10月～4月まではいわゆる雨季でひじょうに雨が多く、湿度も高いので傘を忘れずに。日照時間がひじょうに短いようです。こちらでいう冬の時間に関しては、21日間太陽を見なかったということもネットで公開されているような地域のようなようです。

交通に関しては羽田空港から桃園空港まで所要時間4時間40分、空港から高速バス乗り継ぎで基隆バスターミナルまで1時間40分。台北からは近くて43分。さらに台北からは高速バスでも40～50分ということで、ここでいうと八戸⇒盛岡よりも遥かに近い感じですが、隣の町に行くような感じで、台北市の観光中のちょっとしたオプションツアーというこ

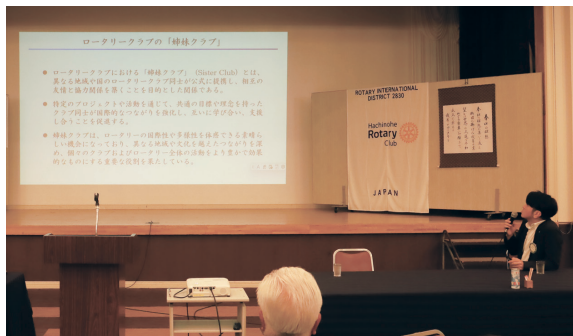
とで基隆ツアー、食い倒れツアーが企画されているサイトがけっこうありました。

基隆はどんな町？ 台湾北部に位置する港湾都市。まさに八戸と通じるところがあります。台北から30km。貿易物流の拠点であることと国際港であるという特徴を持っています。とにかく漁業も盛んで水産加工業も発達しているという意味では八戸にすごく近いと思いました。高台から見ると開けた湾を囲んで建物がたくさんあります。

日本との関りをみても、もちろんすごく近いということ、台湾で一番北部にある港ということでひじょうに係わりが深く、かつては門司港、神戸港との定期便があったということで、日本から台湾に行く人は船でまず基隆港に立ち入った。統治当時は基隆の人口の1/3が日本人だった時期があるようでした。戦後、日本に引き揚げてくるときも、ほとんどの方が基隆港から日本に引き揚げたといわれています。食べ物ちくわ（ジューラ）も統治時代に広まった日本のちくわの変形判です。

基隆の歴史はケタガンという原住民が住んでいたもので、そこからケラン⇒鶏籠（ケラン）。スペインに統治されたり、オランダに統治されたり、その後、中国に統治されたりという歴史を踏んで、さらに中国清朝の統治時代に基隆となったという歴史があります。1880年代後半からいろんな外国の力もあって、鉄道なども整備が進み、1895年から下関条約の元、日本が統治に入ります。当時、日本語にするとキイルンと呼ばれていたようでした。

基隆港は元々はすごく浅く、岩礁も多かった港らしく、そこを巨大工事で今だとクルーズ船も停泊できるくらいに掘り込んだ。鉄道の拠点でもあることから基隆はいろんな意味



で、軍事的にもすごく重要な町であることがいえるようです。行った方はご存じかと思いますが、コンテナの貨物量は一時期世界〇位とか、今は70位。一時期世界7位くらいの貿易量、コンテナの輸入量を誇っていた大きな港だったらしいです。とにかく大きな港で一時期は世界39位。でも台湾2位です。

商船が神戸、門司、基隆と統治時代は内地間定期便が作られた港で、統治時代は日本がかなり設計や大規模な建設を行ったということで日本との関りがひじょうに強かった港のようです。日本統治時代の駅舎、第4代基隆駅、最新の基隆駅。ひじょうに近代的な町の側面もあります。

観光マップ、you tubeにも観光情報が載っています。基隆港、島、造船所跡地、カラフルな建物、夜市に関してはネット情報が踊っています。古い寺院、日本の仏教的な要素の寺院、国立海洋科学博物館。古いところも残しながら近代化が進んでいるのが基隆です。日照時間が短く雨が多い地域、日本とひじょうに縁が深いところです。

来週の金曜日までに申込書に記入の上、事務局にご提出ください。実際に行った方からのお話もこれからあると思います。わたしが知る限り、基隆に行った方は半分くらいいらっしゃるかな？ きょうの参加者の中では半数以上ですが、全体で見ると恐らく半分弱なのかと思います。ぜひ今回の基隆訪問を皆さんで楽しく過ごせたらと思っています。

ロータリーの友委員会

○一部 アーカイブより 道尻誠助委員長



深澤委員長からワクワクするような基隆のお話がありましたが、ぜひ皆さんも行って欲しいと思います。最初に基隆を訪ねたときにお相手して

くれた方が同業者のステイブンさんでした。彼はわたしは酒を飲めないと言ったら、一生懸命基隆の名物のちくわを食べろ、食べるわけっこう食べさせてもらい、以来“ちくわの友”になりました。

見て楽しい、読んで感動、ロータリーの友委員会の道尻です。きょうはわたしが第一部はロータリーの友アーカイブよりを担当し、第二部の今月号の紹介は岩手県一関市出身で、高校大学と六大学でピッチャーまでやったという永澤信さんです。地元の岩手県巖美溪の空飛ぶ団子に例えられ、“空飛び若者”と言われているそうです。

ロータリーの友第一号創刊号です。1953年（昭和28年）1月号からスタートしました。当時はロータリーの会員数も少なかったということで発行部数は3,300部。それが2008年7月号では105,200部というピークを迎えます。その後、ロータリー会員がだんだん減って行き、今年の6月末会員数は82,600人ですから、恐らく83,000部くらいしか出ていないと思います。ぜひ皆さんも今回も話を聞いて読んでみようという気になっていただければと思います。

八戸ロータリークラブがロータリーの友に最初に登場したのは、「八戸ロータリークラブチャーターナイトの記」という文書で出てきました。創立は昭和30年7月6日、承認されたのは7月20日、認証伝達式は11月8日。場所は日東化学工業八戸工場大食堂。スポンサークラブは盛岡ロータリークラブ（昭和14年創立）、青森ロータリークラブは昭和28年創立されています。チャーターメンバー21名。

この時の2月号の表紙を見たときに、わたしはインスピレーションがあるので、左端から小田山幹事のおじいさんのお父さんかな？隣は橋本八右衛門さんのひいお爺さん？石橋信雄会長エレクトにそっくり、隣は中村稔彦さんかな？と想像しました。実際はポール・ハリスとその仲間たちでした。

当時の会長は森井幸蔵さん（日東化学工業工場長）、幹事は大沼直さん。八戸ロータリークラブは日本で157番目のクラブ、青森県では2番目。青森ロータリーが1番目で、青森クラブは日本で100番目のクラブです。

「八戸ロータリークラブチャーターナイトの記」を幹事の大沼さんが書かれています。ひょろに当時は文章もこういう書き方もある



のだと感動しましたので、ご紹介します。

「生まれ出る悩みは八戸ロータリークラブにもありました。数年前より陣痛とまではゆかなくとも、ゾクヒョウ、背痛み程度のものはあったようでした。病み出したら案外早く月足らずの1955年7月6日に、スポンサー青森・盛岡両クラブのお世話でここの声をあげました。7月20日はチャーターがありました。（略）」

ぜひアーカイブのほうを見ていただければ、当時の宴会には小中野からも踊る人が来た。是川遺跡を見たりなど細かく載っていますので、ぜひ読んでいただければ当時のロータリーの世界もちょっとわかるかと思えます。当時は青森県には青森と八戸だけが載っていますが、この2、3か月後には弘前も載っています。昭和34年7月号当時はこの前の年から全国の会長幹事が顔写真付きで載り始めました。当時の八戸ロータリークラブ幹事の橋本忠吉さん（橋本昭一さんのお父さん）が載っています。

わたしが入った頃のロータリアンで、亡くなられた方で、今は息子さんが入っています。右手に東奥日報、左手にデーリー東北、枕元にロータリーの友を置きなさいと言われました。

○二部 ロータリーの友今月号の紹介：

永澤 信委員



P 7 今月は基本的教育と識字率向上月間です。教育に関する記事が載っています。P 7からは海外におけるロータリークラブの活動、ネパール

での活動で橋本ロータリークラブ（和歌山県）の記事が載っています。きっかけはヒマラヤ登山で、筆者の北さんがヒマラヤ登山を

したことをきっかけに、橋本ロータリークラブが支援をしようとする事になった。ネパールの厳しい山の中を1時間、2時間かけて学校に通う子どもたちを見て、ぜひここに支援したいという記事が載っています。

橋本ロータリークラブでは学校を15年くらい支援して7つの学校を作った。バイオガストイレを160個設置した。なんでトイレなのかと思って読んでいったら、どうもネパールは識字率71%、こどもたちが字を覚えると高学年になると学校に来なくなってしまう。それで何をしているかという労働をしていて、薪などを家の生活のために取りに行く。だから学業についても深みがない中で卒業してしまう。じゃ、トイレを作ろう。バイオガストイレはそこで排泄物をためていると2時間くらいでガスを発生して火を点けられ、薪を取りに行かなくなるように、ということでそういう支援もしているようです。

P13 ベトナムの例。トラシ・ゴールデンロータリークラブ。ベトナムでも同じように学校まで結構遠いので自転車を寄贈した。こちらは最近の取り組みかと思ったら、昨年6月からこういった取り組みをしている。

縦書き P69 2500地区（北海道東部）のIM

での特別講演の記事。わたしは音楽に造詣がありませんが、ベネゼエラ生まれの音楽教育エル・システム。ベネゼエラの青少年の教育のためにベネゼエラ政府が楽器などを子どもに無償で提供して、どちらかという音楽という文化的教育かと思って読んだら、実は集団でオーケストラをやったり、仲間と連携したりということで青少年の社会的教育の意味で1975年からやっている音楽教育プログラムが紹介されていました。

その中で音楽だけではなく今でもやっていることは、音楽は耳が聞こえる人だけでなく障害のある子にも音楽をということで、音楽を手話のような形で障害者と健常者が一緒になって作りあげる音楽をやっているそうです。世界70か国でこういった取り組みをやっていると書いてあって、感心して見ていました。

P60 東北シリーズ 相模原南ロータリークラブの中村タツオさんの記事。北秋田市の話で、マタギの里、阿仁の心を忘れずに。東北の話題が出ていますので、ぜひご覧ください。

P60 山形の芋煮、宮城県のズンダの話。最後にP59青森の話。八戸ロータリークラブの道尻誠助さんの川柳が載っていますので、ぜひご覧ください。

出 席 報 告						出 席 委 員 会	
第3325回例会（8月28日）				第3323回例会（8月7日）			
出席率		100%		出席率		60.9%	
総会員数		66名		出席率		修正出席率	
出席義務会員		出席数		総会員数		3名	
66名		66名		66名		メイクアップした人数	
出席免除会員		欠席数		出席義務会員		欠席数	
0名		0名		64名		22名	
				出席免除会員			
				2名			

出 席 報 告						出 席 委 員 会	
第3326回例会（9月4日）				第3324回例会（8月21日）			
出席率		73.0%		出席率		64.1%	
総会員数		出席数		総会員数		修正出席率	
65名		46名		66名		65.6%	
出席義務会員		欠席数		メイクアップした人数		1名	
63名		17名		64名		22名	
出席免除会員				出席義務会員			
2名				64名			
				出席免除会員			
				2名			